

税理士事務所でありながら、ルギードの業務は資産活用と相続対策に特化している。ほかにも対象となる仕事は多いなかで、この二つにこだわるのは、渡辺由紀子氏自身の経験が大きく関わっている。

義父の相続対策が起業のきっかけに

「きっかけは岐阜の固定資産税でした。もともと農家だったので、都市化が進むにつれ、税額もそれなりにかかるようになっていました。義父は活用には積極的ではありませんでしたが、固定資産税納税のため、農協から借入をしてロードサイドの店舗を建て、賃貸しました。納税について苦慮している義父の姿を見ていて、自然に税金と資産活用に関心を持つようになったのです」

コンサルティング会社で経験を積みながら、渡辺氏は相続対策も進めていった。所有資産の組み換えや、さらに活用を行った結果、目標としていた節税と納税の見通しができただけでなく、収益も上がるようになったという。

「義父は昨年他界しましたが、事前に相続対策をしっかりとっていたこともあって、大勢の親

族に看取られながらの最期でした。相続をめぐるトラブルが後を絶たないといいますが、私の経験から言わせていただくと、生前に資産をすべてオープンにして、親も子どもたちも一緒に考えていけば、トラブルが起る可能性はほとんどないと思います。そういうことを知らずに、残った遺産をどうするかだけに目を奪われるから、感情的な問題も起るのでしょう。だから私は、一生懸命生きてきた人の最期を、いい形に整えるお手伝いをしたいと思って、この仕事を始めました」

「自分が当事者として、さまざまな相続対策、資産活用を行ってきたからこそ、依頼に対して共感をもって接することができると。ルギード（Le Guide）はフランス語で「ガイド、案内人」という意味の言葉だが、相続に直面していると人と、一緒に考え、解決の方策を見出す案内人でありたい。これが渡辺氏の基本哲学である。

現状分析によってまず問題点を把握

ルギードではまず、現状分析を行うところから始める。これはビジネスにたとえたほうがわかりやすいかもしれない。プロ

「まず現時点での相続税、納税額を知っておいて、たとえば誕生日や会社の決算期ごとに定額観測を行い、常に財産の時価評価を把握しておく。そうやって用意しておけば、いざというときにはあわてずすみずみです。本音では、コンサルティングを行うときは、土地の活用までまかせてもらったほうが、ビジネスとしてはありがたい（笑）。でも、それはあくまでも結果であって、お客さまが満足したかどうか

た後、しばらく様子を見ることであっても構わないと、渡辺氏は言う。

最も大切なこと」

もちろん、コンサルティングの体制にも万全を期している。現状認識の結果、財産の保全や運用、相続対策、事業継承に関する依頼を受けたときは、さまざまな分野の専門家と協力しながら、提案を行っていく。司法書士、社会保険労務士、公認会計士、不動産鑑定士、一級建築士など、幅広いネットワークを構築しているところも、ルギードの強みだという。

活用や最も効率的な収益確保の方法を知ることが重要です。不動産の売却・購入・活用それに伴う税額軽減・課税の特例などの要件を満たす提案を行うことが、当社のもう一つの強み。税金は期間ごとに課税されるので、後でこうしておけば良かったと後悔しても遅いのです」

ルギードでは、これまでの人生と、残したいものを細かく記入する冊子「わた史」を用意している。まず現状を把握してもらうところから始めるという、徹底した顧客目線が、ここに象徴されているようだ。



ルギードで用意している冊子「わた史」。自分史年表や財産についての欄などがあり、この冊子に書き込んでいくことで、自分自身を振り返り、家族に意思を残すこともできる

「しかし、相続となると現状分析されないケースがほとんどです。どれだけの資産、債務があるのか。相続税はかかるのか、かからないのか。不動産の評価額、マンション経営をしていながらその収益率。また家族構成と法定相続の割合など、知らなければいけないことに対し

て認識が足りないケースが多く、それがトラブルの原因になります。まず現状分析を徹底するのは、そんな理由からです」



税理士 渡辺由紀子氏

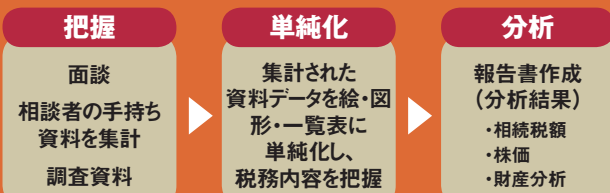
自らの相続体験をもとに顧客目線を貫いたコンサルティングを行う資産活用と相続対策に特化してサービスを提供する「ルギード」。その社名には、代表である渡辺由紀子氏の「二人でも多くの人に、最良の形でエンディングを迎えていただくお手伝いを」という願いが込められていた。

ルギード

生前対策は現状分析から始める

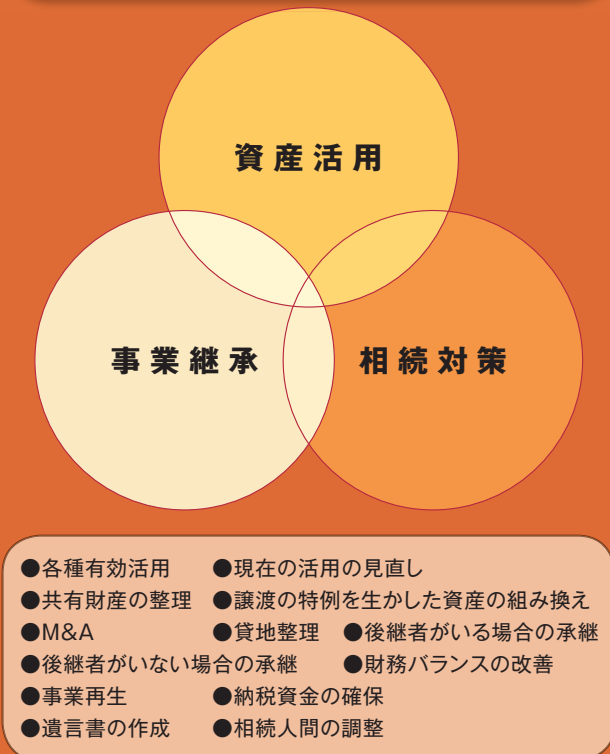
自分の資産はいったいどのくらいの価値があるのか。有効に資産を運用するためには、まず、資産の現状をしっかりと把握することが大切だ。ここで、ルギードが行っている現状分析の流れを見てみよう。

現状分析の流れ



分析結果から問題点・テーマを導き出し、それをもとに解決策を提案

コンサルティング



ルギード「会社案内」より

問い合わせ先
ルギード株式会社
東京都港区南青山6-13-5 ポルトポヌール302号室
☎0120-031-430 FAX:03-3486-7217
URL:http://w-shisanzei.com/